【令和６年２月７日　第 57 期一般幹部候補生課程（部内課程）卒業式　祝辞】

祝　　辞

本日、ここ海上自衛隊第１術科学校大講堂において、第五十七期一般幹部候補生部内課程の卒業式が厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部候補生課程を卒業される皆様、御家族の皆様、本日は、誠におめでとうございます。今、こうして皆様の、規律正しく、凛とした姿を拝見いたしますと、ここ江田島で過ごされた日々は、厳しい中にも達成感を感じられる、充実したものであったと推察いたします。
渡邉学校長を始めとする、学校関係者の皆様におかれましては、江田島の地で立派に成長した自衛官の姿に、感慨もひとしおのこととお察しいたします。

さて、我が国では、元日に「令和六年能登半島地震」が発生し、今も、自衛官の皆様方による被災者支援が続いております。また、江田島市におきましても先月の大柿町の陀峯山で発生した林野火災において自衛隊の皆様方には消火活動の御支援をしていただきました。三百六十五日、昼夜を問わず、国家国民のために精進される自衛官の皆様に、私達江田島市民は、心から敬意を抱いております。

本日、卒業される皆様方におかれましては、旧海軍兵学校の伝統を受け継ぐ、幹部候補生学校で学ばれたことを糧として強固な使命感を持ち、立派な指揮官として、国民からの負託にしっかりと応えていただきたいと、心から願っております。

皆様、御存知のとおり、ここ江田島市は、明治の時代に海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えし、現在に至る百三十六年間、共存共栄・一体不可分の関係を築き、皆様との縁や絆を大切に育んできた地でございます。
御卒業されましても、皆様の「心のふるさと」として、折にふれ、訪れていただきますよう、市民一同、心からお待ちしております。
そして、御来訪の際には、自然豊かな風景とともに、厳しくも充実した生活を思い出しながら、海の幸、山の幸を存分に楽しみ、懐かしんでいただければ、大変嬉しく思います。
いつの日か再び皆様とお会いできる日を、楽しみにしております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして本日御参会の全ての皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。
本日は、誠におめでとうございます。

令和六年二月七日

江田島市長　明　岳　周　作